



巻頭言

ハーベスト・タイム・ ミニストリーズの主張

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表
中川健一

2018年10月、ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、『日本の教会に忍び寄る危険なムーブメント—NARに関する警鐘を鳴らす』（ウィリアム・ウッド著）を出版した。ウッド氏は、その本の「まえがき」でこう記しておられる。

「…その問題点や危険性を指摘する日本語の情報は皆無だった。そこで、アメリカから数十冊の本を取り寄せて、本格的な研究を開始したのだ。…それらを読んで行くうちに、長年のカルト研究の中で、初めて怖さを感じた。今まで見て来たグループの中で、最も危険なものだという思いさえした」

筆者は、ウッド氏と問題意識を共有するものである。もっと言えば、日本だけでなく、世界各地において、キリスト教が変質しつつあることに危惧を抱いている。私たちは、次の世代にどのようなキリスト教信仰を残そうとしているのか。このまま行けば、聖書信仰は崩壊してしまうのではないか。いわゆる「繁栄の神学」は、聖書を「成功哲学の手引き書」のレベルにまで引き下げってしまった。苦難の意味を見失ったキリスト教は、最早聖書的キリスト教と

は言えない。ウッド氏の本が問題にしている「使徒と預言者の回復運動」もまた、聖書信仰に対する脅威である。ちなみに、NARとは「New Apostolic Reformation」（新使徒的宗教改革）の略である。

このような霊的時代背景の中で、ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、自分たちの働きの土台となっているものを再確認させられている。

1. 聖書は誤りなき神のことは

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です」（2テモ3:16）。聖書に対する全幅の信頼がないなら、聖書的キリスト教は成り立たない。①啓示は、神が伝えるメッセージの内容である。②靈感は、神が啓示を与える方法で、「神の息が吹き込まれた」という意味である。③啓示の最終的な形が聖書である。④啓示を与える方は、聖霊である。

2. 字義通りの解釈

「聖書のみ」は、宗教改革の原則のひとつであるが、ここで覚えないのは、聖書は正しく解釈されて初め

て権威を有するようになるということである。「10人いれば10通りの読み方がある」というような教えは、聖書信仰からは遠く外れている。聖書を正しく解釈するためには、解釈学の学びが必要である。ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、聖書の比喩的解釈を排除し、字義通りの解釈を主張する。字義通りの解釈とは、最も自然な解釈であり、著者の意図を探る解釈である。それは、「歴史的・文法的解釈」とも呼ばれる。

3. ヘブルの解釈

聖句には、難解なものから容易なものまで、難易度が異なるものがある。難しいものから順に難易度A、B、Cとしてみよう。①難易度Aの聖句は、当時のヘブルの背景（用語の意味、習慣など）を知らないと、解釈が間違ってしまうものである。②難易度Bの聖句は、そのまま読んでもある程度分かるが、ヘブルの背景に関する理解があると、さらに鮮明に理解できるものである。③難易度Cの聖句は、そのまま読んで理解できるものである。最後のCに関しては、ヘブルの読み方を意識しなくても、その意味がほぼ理解できるはずである（p2へ続く）



東京プレーセンター

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビル404号 TEL&FAX: 03-5577-6365

「日本と世界にリバイバル」のために神様が2011年11月に「東京プレーセンター」(TPC)を設立されました。

活動目的は次の通りです。

- (1) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会をおこなう
- (3) 超教派として活動する
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する

このようなミッションの元、神様は毎日の「お昼の礼拝」と「朝夕の祈り会」を導いて下さっています。

「お昼の礼拝」は、教団、教派を超えた教職者、そして、宣教に重荷をもった信徒の方々が日替わりでメッセージを担当して下さい、7年経過時点で女性100人を含め500人を超えました。TPCの講壇はすべてのクリスチャンのために用意されていると強く思われています。

そして、「朝夕の祈り会」に加えて、「祈りの学校」、「御茶ノ水朝禱会」も始まりました。

TPCは教会員制度をとっていません。出入りは全く自由です。あなたも、是非一度、お気軽にTPCにお越し下さい。



祈りの学校

(巻頭言 p1から続く)

る。結局のところ、ヘブル的解釈とは、特別な読み方をするのではなく、字義通りの解釈を実践することなのである。

4. 聖霊の働き

人に聖書を理解させる力は、聖霊から来る。聖霊は、啓示されたみことばを通して働かれる。つまり、聖霊はみことばとは無関係に、あるいは、みことばを超越して働かれるわけではないということである。それゆえ、聖霊の働きに期待する者は、みことばの解き明かしと伝達に心血を注ぐ必要がある。主観的キリスト教も体験主義的キリスト教も、やがては廃れていくことを知るべきである。

インターネット空間には、ありとあらゆるおかしげな教えが充ち満ちている。ハーベスト・タイム・ミニストリーズが提供している「まじめな」聖書講解メッセージは、まさに大海の一滴のようなものである。しかし、2019年3月のダウンロード数は、537,868件となった。神は、御自身の御声を聞き分ける人々を確実に集めておられる。ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、今後とも、「聖書研究から日本の霊的覚醒(目覚め)が」をモットーに前進するつもりである。お祈りに覚えていただけるなら、感謝である。



伝道団体連絡協議会の最近の動き

伝団協 会長 姫井雅夫

伝道団体連絡協議会が誕生してかなりの年月がたちました。当時はJEAの会合があっても、「教会」中心で伝団(伝道団体)は附属品の様でした。

当時の指導者の方々が、伝道・宣教の働きは、教会と伝団の協力によって進めていく、まさに車の両輪のようなもの。伝団の存在意義を汲み取って、協力しあっていくべきでしようという勧めと、JEAの中で「協力団体」という位置づけを取り付けてくださいました。

しかし、総会などでの投票は、教会・教団の1票はそれなりの価値を持っていますが、伝団の場合は3団体の投票が、教会の1票と数えられているようです。でも存在意義を認めてくださっているので感謝です。

伝団協を始めた時には約50団体が加盟して下さっていました。でも現在は30団体ぐらいいなりました。伝団の存在意義をもっとよく知っていただくために、フェスティバルを開催しました。各団体の紹介や商品の販売、楽しい催し物を企画して開催しました。ずっとOCCで継

続してきたのですが、周辺地域でも開催しようと高座教会に会場を移したり、公の施設をお借りして開催してきました。

機関紙「協力」を発行したり、ホームページを開設してきました。伝団加盟団体は、それぞれが機関紙を発行したり、ホームページで情報を提供してくださっています。そればかりではなく、大衆伝道が行われるときには、伝団協加盟団体がいろいろな形態で協力し、大会を盛り上げてきました。

最近のキリスト教界の動きを見ると、教会の数が減ってきています。さらに各教会での集会出席者数が減ってきています。教会が閉鎖されたり、合併しています。教職(牧師・伝道師)の数も減り、高齢の牧師が継続して教会維持、宣教の働きを保持しています。このような状況の中で、伝団も同じような様相を呈してきています。

最近の伝団協役員会では、2000年のフェスティバルのために「伝団紹介パンフレット」を作成しました。それに習って、私たちの存在

を、まず教職の方々に、さらに各教会の役員の方々に、さらに輪を広げてクリスチャンの方々に知っていただこうと企画準備をしています。

各団体の皆さん、パンフレット作成担当者から、原稿や写真の依頼が行くと思います。ぜひご協力ください。各団体もスタッフの削減や財政の困難からでしょうか、今回の「協力」発行のために原稿をお願いしましたが、ごく限られた団体からしか原稿が届きませんでした。パンフレットのためには全加盟団体を紹介したいと願っていますので、よろしく原稿・写真を送ってください。以前のような小冊子ではなく、簡単なものにしてしまうと企画中。A5サイズ、フルカラー、16頁、中綴じで作成し、3000部印刷する予定です。加盟団体のみなさん、よろしくご協力ください。

日本の人口を初め、あらゆる業界や政治、経済、教育などの面でも、消極的な雰囲気が出ています。

その流れの中で、伝団も津波に巻き込まれるように流されていかないうちに、主に導きを請い、憐れみを求めていきましょう。私たちに託されている尊い使命を果たしていただけるよう、心を合わせましょう。





近況& 祈りの 課題

vol.91
2019年5月

日本聖書協会

① 昨年12月に出版された「聖書協会共同訳」が礼拝と伝道に多く用いられ、救霊に役立つものになりますように。

② 「聖書協会共同訳」の点字聖書製作が祝され、多くの方に支えられますように。

③ ニュースサイト「クリスチャンプレス」が広く用いられ、伝道に貢献するメディアとして成長しますように。

総動員伝道

① 5月の新潟県佐渡でのトラクト配布伝道のため。

② 9月の鎌倉街道歩いて伝道が主に用いられるように。

東京プレーヤーセンター

① クリスチャンがもつと聖霊様に満たされて元気に

なる様に。

② 日本中の牧師さんがPCのメッセージ奉仕に用いられる様に。

③ 女性メッセセンジャーが100名になる様に。

④ 礼拝、祈り会に多くの方が参加できる様に。

クリスチャン文書伝道団

長年の出版不況からの影響が大きく、働きを続けるには困難な状況です。また、働き人の高齢化、規模縮小など課題は多くあります。主から豊かな知恵と力が与えられ、この状況を少しでも変革できるようにお祈りください。

新生宣教団

① 世界の迫害下にいる兄弟姉妹の安全と教会活動が守られるように。

② 中国語聖書の定期的な供給がなされるように。(日本国内での配布実施中！)

③ インド向けマンガ聖書(ヒンディー語)の必要が満たされるように(55万5千冊) ④ 印刷機への十分な整備が行き渡るように。

太平洋放送協会

● 神様の愛と希望をわかりやすく伝える福音番組を制作し提供することを通して、福音主義に立つすべての教会に仕え、主に栄光を帰すことができすように。

● 放送を通してでなければ福音に触れることができない方々に、福音が届けられますように。

● 3D聖書アニメーション『スーパーブック』シリーズ2が用いられますように。
<http://www.superbook.me/>

お茶の水クリスチャンセンター

● 2019年、OCC70周年を迎えました。OCC館内にある団体と協力し、関係を強め一致して宣教していきますように。

● 約40年間継続してきましたOCCフライデーナイトが7月から隔週に開催することになりました。神様の

助けと知恵があたえられますように。

福音ネット伝道協力会

(1) インターネット配信伝道番組「この指とまれ」が、世界の人々に聴かれるように。

(2) 5大コンテンツの充実

① 「この指ドラマ館」

② 新約聖書ドラマ「イエスに出会った人々」

③ 旧約聖書ドラマ「神を見た人々」

④ 日本語版「解き放たれた人生」

⑤ 聖書・名作朗読 Bible You version「B新旧約」

(3) 同労者(出演者) 現在9人(男性5人、女性4人) 感謝。更に参加を。

(4) 伝団協の他の伝道団体と、宣教協力ができるように。

ユース・ウイズ・ア・ミッション

● 神の時を迎えている日本が、主の名の下に立ち上がり、主の御心を行う者として遣わされるように。そのためYWAAMの訓練や働きによって仕える事ができるように。

● 多くの国が日本に注目

し、たくさん宣教チームが派遣されてきています。しかし働き人がまだ少ないので、それを受け入れるだけでも大変です。収穫のために働き手が送られてくるように。

日本キリスト伝道会

● 日本と世界にリバイバルを！

● 7月30、31日の「幻の会」 「青年と共にビジョンを」が祝われますように。

第35回 伝道団体連絡協議会 総会の報告

2019年4月23日 午前11時～午後2時
於・OCC 416号室

出席団体はOCC、総動員伝道、太平洋放送協会、小さないのちを守る会、東京プレーヤーセンター、日本キリスト伝道会、ハンガーゼロ、日本聖書協会、福音ネット伝道協力会、YWAM、以上10団体。

開会礼拝では会長の姫井師が2テモテ4...15から「時が良くても悪くても、みことばを伝えよう」と奨励されました。

2018年度の活動報告、会計報告がなされ、役員改選がなされました。2年任期制ですが、会長姫井師、総務高橋姉、書記未定、広報和気兄、会計小川兄。書記の選択が出来ずこれから交渉することになりました。2019年度の活動計画案、予算案も承認されました。閉会祈禱辻岡師をもつて終了しました。

その後、昼食を取りながら、三浦姉の賛美と証のときを持ち、自由歓談と各団体の近況を報告して会合を閉じました。

